

「つくば」からはばたく未来のナノテクリーダー

筑波大学では、TIA-nano の人材育成プログラムとして、TIA連携大学院の構築を目指し

- ・つくばナノテク拠点産学独連携人材育成プログラム(オナースプログラム)
- ・TIA連携大学院サマー・オープン・フェスティバル
- ・筑波大学大学院パワーエレクトロニクス寄附講座 を展開しました。

TIA-nano関連機関の協力のもと、産業界を含む開かれた教育の場にむけた新しい教育体制を提案しながら、次世代産業を支える人材育成を目指しています。

■目的・グローバルで俯瞰的な視野の獲得
・イノベーションの推進力・企画力の養成

■方法・つくば地区をハブとした国際的研究ネットワークを活用
・共鳴場(マルチ・メンター制)

イノベーション意識の育成

要素技術を持ちながら
将来の社会インフラ技術への
踏み出しを遂巡



スティーブ・ジョブズの
目利き
将来の情報化社会に向けて
(基礎知識+俯瞰力)

技術の社会への応用に
対する目利き力育成は、
産学独共鳴場と
海外での研究経験が有効

インターネット

世界をリードした日本の技術

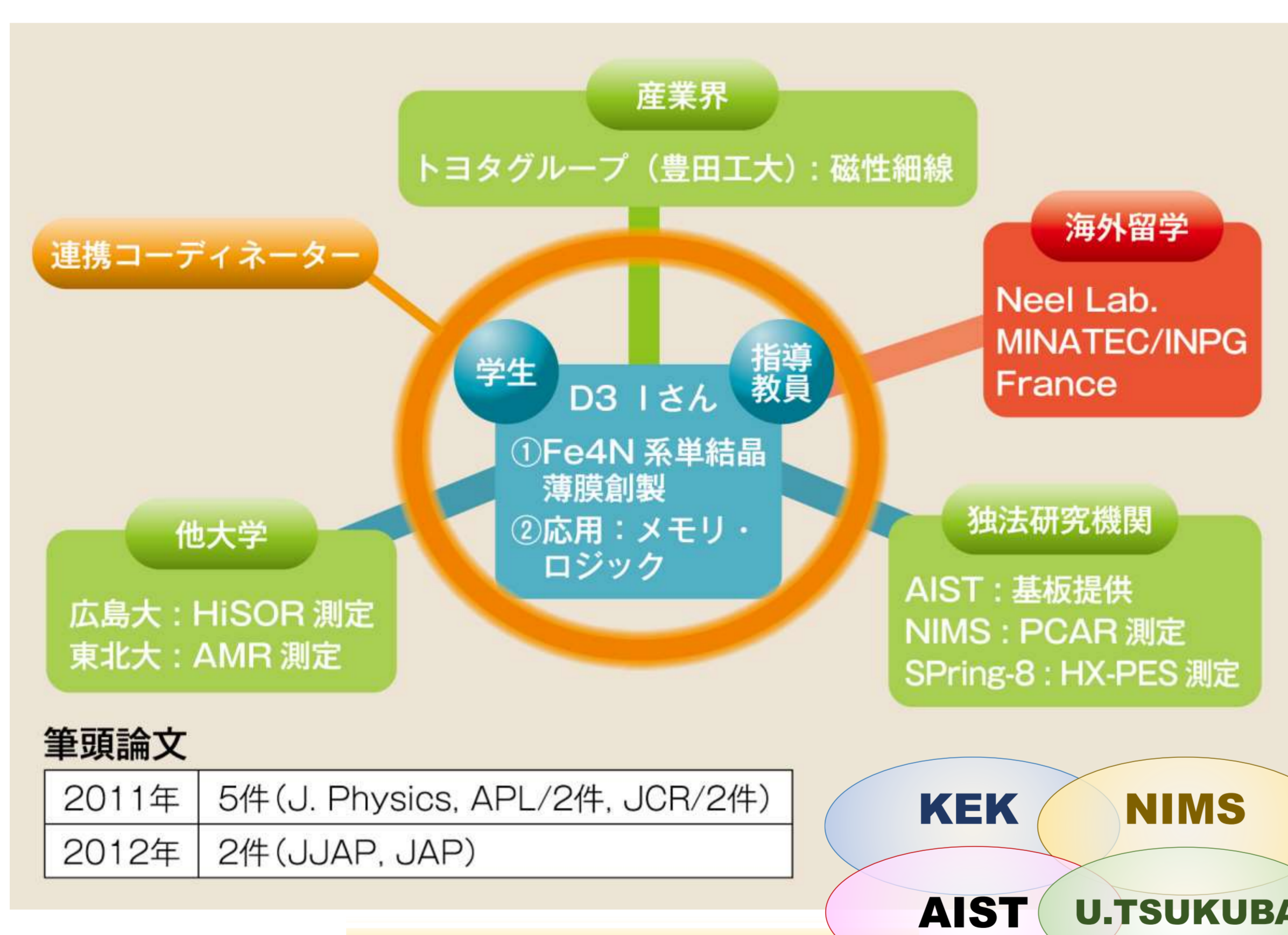


TIA連携大学院とは

TIA-nanoの資源を活用し、ナノテクノロジーの分野で世界をリードする次世代の研究者・技術者を育成する取り組みです。描くのはオールジャパン体制。日本で最もナノテクノロジーの研究設備と人材が集積するつくばを舞台に、全国からナノテクノロジーのリソースを集結し、一つの大学・機関だけでは到底成し得ないであろう、国際基準の開かれた大学院教育研究システムを構築することを目指しています。

共鳴場による人材育成

■オナースプログラムの共鳴場の例



マルチメンター制など、指導教員の枠を越えた人材育成

- 1 マルチメンター制(複数指導制)
・連携コーディネータ
・連携教員
・つくば連携研究 **共鳴場**
- 2 海外派遣
- 3 海外著名教授による英語での授業
- 4 シンポジウム(国際・国内)

オナースプログラムをステップとした新展開

育成すべき人材像

高いモチベーション: 社会に対して役に立とうとする意欲

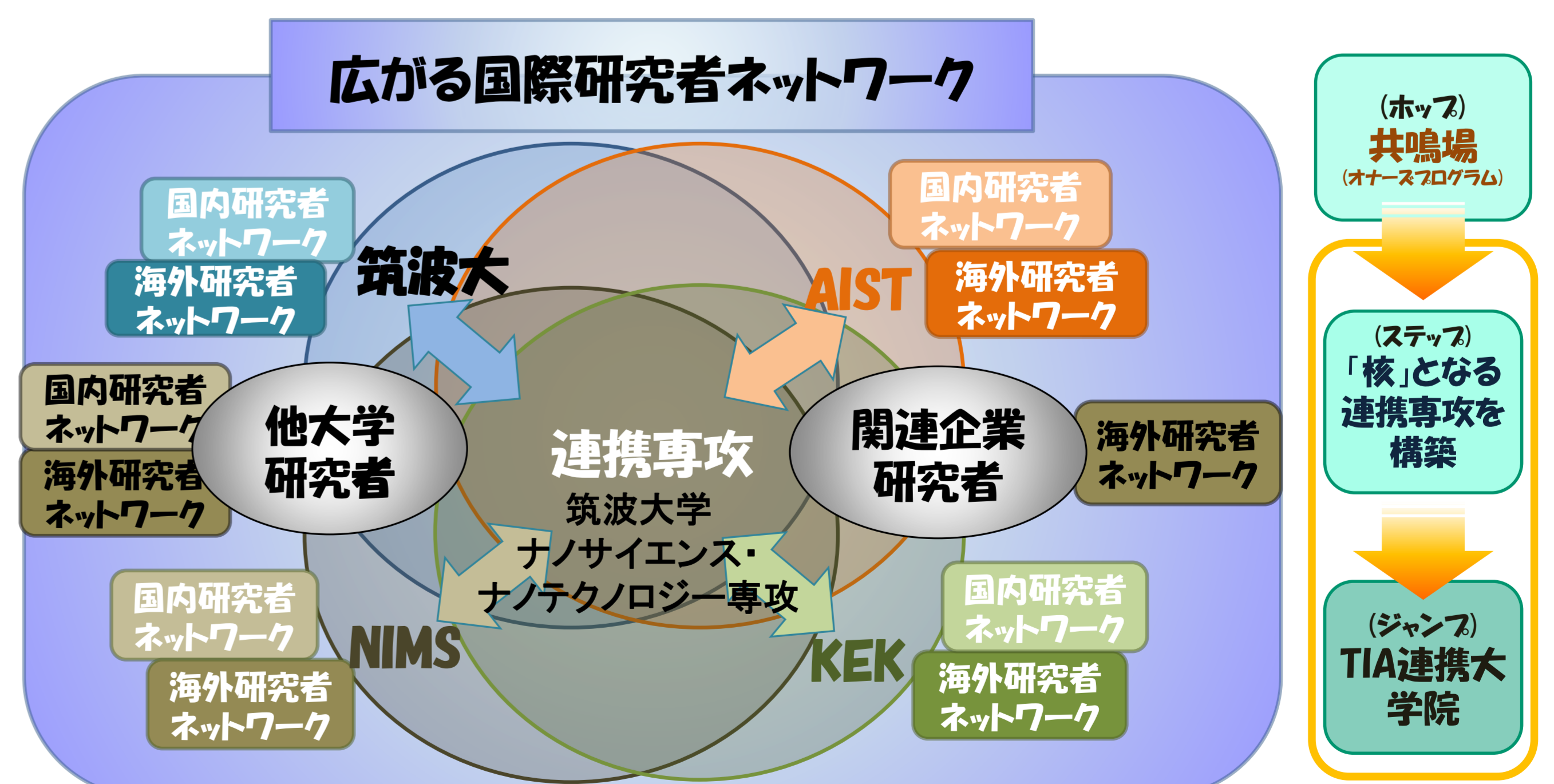
- 調査力・俯瞰力: 技術に対する広い視野
- 発想力: アグレッシブ(挑戦的な)提案
- 企画力: 裏付けのある大胆さ、説得しようとする強い意思
- 実行力: 企画実現に向けて、周囲をまとめる力

①海外協定大学との交流の活発化

- 1) 欧米およびアジア圏留学生受け入れ体制の充実
- 2) 海外派遣

②社会人博士課程

■ TIA連携大学院の「核」となる連携専攻(案)



TIA大学院連携WG委員長 金谷和至(筑波大学数理物質系長)

<http://tia-edu.jp>